Meltec
Mechanical
electrotechnics

生産物賠償責任（PL）保険付

FT-40P

二重絶縁

AC 100V

《連打式》

回転数 **2000rpm** / トルク **300N·m**

電動インパクトレンチ

取扱説明書

タイヤ交換は自分でできる？

製品には取扱説明書を添付しており、タイヤ交換作業の方法および手順を解説しております。
タイヤ交換作業はケガや事故等の危険が伴います。
本来は設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。
交換に必要となる工具・設備等が用意でき、知識と経験のある方が行う場合は取扱説明書等に従い十分に注意して行ってください。
経験が浅い方、交換に関する知識や必要となる工具・設備等が用意できない場合は本製品のご使用をお勧めできません。

この度は、「電動インパクトレンチ」をお求め頂きましてありがとうございます。
この説明書は、ＦＴ-４０Ｐをご使用して頂くためのガイドブックです。弊社製電動インパクトレンチを初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。
この説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で正しくご使用くださいますようお願いいたします。また、常にこの説明書を手もとに置かれて作業される事をお勧めします。

― 目 次 ―

電動工具の安全上のご注意……1～2
回 二重絶縁について……3
インパクトレンチの使用上のご注意……3
各部の名称 / 標準付属品……3
用　　途……4
作業前の準備……4
ご使用前に……4～5
使 い 方……5
締め付け作業上のご注意……5～6
タイヤの交換方法……6～8
保守・点検 / ご修理のときは……8～9
MEMO……10

⚠警告・⚠注意・注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分しています。「注」も含めた意味の説明は下記のとおりです。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

●火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

①作業場はいつもきれいに保ってください。
●ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
②作業場の周囲状況も考慮してください。
●電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
●作業場は十分に明るくしてください。
●可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。

③感電に注意してください。
●電動工具を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
④子供を近づけないでください。
●作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
●作業者以外、作業場に近づけないでください。
⑤使用しない場合は、きちんと保管してください。
●乾燥した場所で、子供の手の届かない高い場所、または錠のかかる所に保管してください。
⑥無理して使用しないでください。
●安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った作業をしてください。
⑦作業に合った電動工具を使用してください。
●小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
●指定された用途意外に使用しないでください。
⑧きちんとした服装で作業してください。
●だぶだぶの衣装やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
●屋外での作業の場合のは、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
●長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
⑨コードを乱暴に扱わないでください。
●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
●コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
⑩無理な姿勢で作業をしないでください。
●常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
⑪付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
●コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社に修理を依頼してください。
●継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
●握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースは除去しておいてください。
⑫次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
●使用しない場合。
●ソケットなどの付属品を交換する場合。
●その他、危険が予想される場合。
⑬不意な始動は避けてください。
●電源をつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
●差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
⑭屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。
●屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。
⑮油断しないで十分注意して作業を行ってください。
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
●常識を働かせ無理な使用は行わないでください。
●疲れているときは、使用しないでください。
⑯損傷した部品がないか点検してください。
●使用前に、本体ハウジングやその他の部品に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
●可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異状がないか確認してください。
●損傷した本体ハウジング、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社に修理を依頼してください。
●スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または当社へ修理を依頼してください。
●スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
⑰指定の付属品を使用してください。
●この取扱説明書に記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のを使用すると、事故やケガの原因になる恐れがありますので、使用しないでください。
⑱電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
●この製品は、該当する安全規格に適合させているので改造しないでください。
●修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には、“回” マークを表示しています。二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、または当社にご用命ください。

インパクトレンチの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、インパクトレンチとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

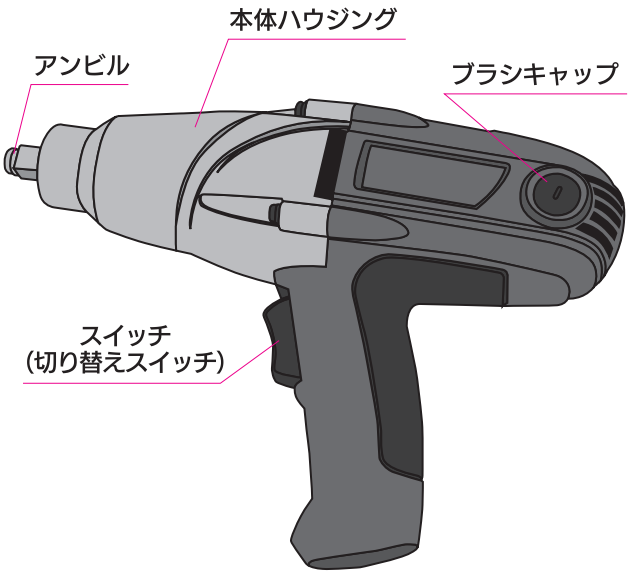
警告

①使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
●表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
②使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
●確実に保持していないと、ケガの原因になります。
③使用中は、ソケットなどの回転部に手や顔を近づけないでください。
●ケガの原因になります。
④使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社に点検・修理を依頼してください。
●そのまま使用していると、ケガの原因になります。
⑤誤って落としたり、ぶつけたときは機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
●破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。

注意

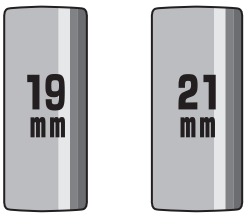
①工具類（ソケットなど）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
●確実でないとはずれたりし、ケガの原因になります。
②使用中は、サイズの合わない大き目の軍手など巻き込まれる恐れがある手袋は着用しないでください。
●回転部に巻き込まれ、ケガの原因になります。
③ユニバーサルジョイント使用時は、無負荷で運転しないでください。
●ソケットが振り回され、ケガの原因になります。
④ホイールメーカーの指示によりインパクトレンチが使用不可の物もありますので、ホイールメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
●説明書の指示を守らないと、ホイールに傷等が付く恐れがあります。

各部の名称

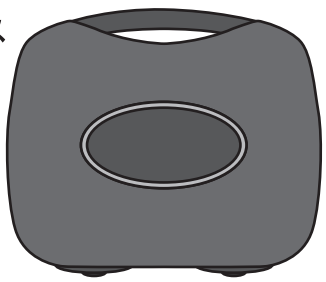


標準付属品

●六角ソケット…各１個



ケース



用　途

本製品は、お車のホイール脱着時におけるボルト、ナットの取り外しや仮締めに使用するものです。
目的以外の使用は絶対にしないでください。

作業前の準備　作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この商品は、二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード……

警告

●継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。
次の表は、本機に継ぐことのできるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

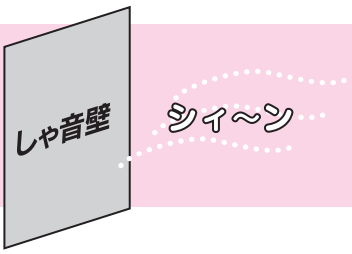
導体公称断面	最大の長さ
0.75㎟	20m
1.25㎟	30m
2㎟	50m

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。



ご使用前に

警告

●ご使用前に次のことを確認してください。
1〜4については、差し込みプラグを電源に差し込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破損する恐れがあります。
また、直流電源で使用しないでください。製品の破損を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2．ボルトにあったソケットの選定……

ボルト、ナットのサイズにあったソケットをご使用ください。
サイズの異なったソケットを使用しますと適正な締付トルクが得られないだけでなくソケットやナットを損傷いたします。
ソケットの六角穴や四角穴が摩耗すると、ソケットやアンビルとのガタが大きくなり、締付トルクが減少します。
ソケットの摩耗具合をみて新しいものと交換し、ご使用ください。

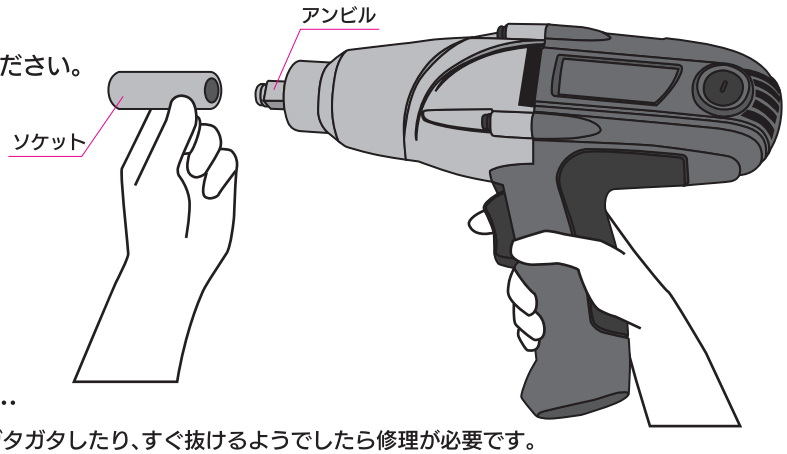
ご使用前に

3．ソケットを取り付ける……

注意

●ソケットにヒビ、ワレがないことを確認してください。
ソケットが破損し、ケガの原因になります。
●ソケットは、必ず正規の位置にセットしてください。
確実でないと外れたりし、ケガの原因になります。

ご使用になるソケットを選定し
アンビルに、確実にセットしてください。

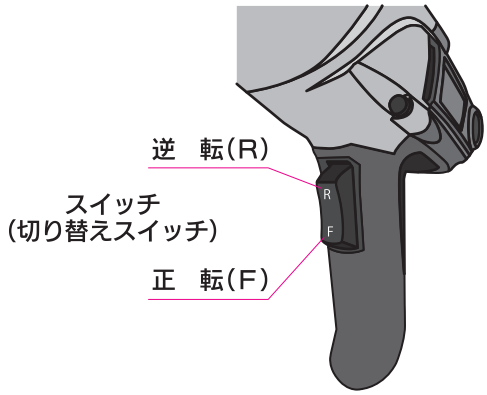


4．電源コンセントの点検……

差し込みプラグを差し込んだとき、ガタガタしたり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、接触不良等で過熱して事故の原因になります。

使い方

1．スイッチの操作、回転方向の切り替え……



切り替えスイッチは左図のようにスイッチを（F)「Forward」下側にすることにより正転（正ネジの締め付け側回転)、（R)「Reverse」上側にすることにより逆転（正ネジのゆるめ側回転)となり、スイッチの操作で回転方向の切り替えができます。

注

●正転、逆転の切り替えのときは一端スイッチを放し、モーターが完全に停止したことを確認してから、切り替えてください。
●ホイール、ナット(ボルト)の最終締め付けは、トルクレンチを使用し規定のトルクにて締め付けてください。

締め付け作業上のご注意

1．使用電源の電圧を調べてください……

ご使用になる電源の電圧が銘板記載の電圧より低くなりますと締付トルクも小さくなります。
例えば１００Ｖ品を９０Ｖの電圧でご使用になりますと、締付トルクは急激に減少します。継ぎコードをご使用になるときはコード芯線の太いものをできるだけ短くしてご使用ください。電源電圧が低下している場合、長い継ぎコードをお使いになる場合などには昇圧器のご使用をおすすめします。

注意

●車両により、ホイール、ナットが逆ネジの場合がありますのでご注意ください。

2．ボルトにあった締め付け時間で……

ボルト、ナットの適正締付トルクはボルトの材質やサイズ、等級などによって異なります。
小径のボルトを大きな締付トルクで締めますと、ボルトが伸びたり切断する恐れがあります。ボルトに合った締め付け時間で締め付け、再度トルクレンチにて適正トルクを確認してください。

3. 本体の保持と押し付け……

本体は、両手で確実に保持してください。
本体を保持した際には、ボルトに対して本体がまっすぐになるようにしてください。また、本体は必要以上に押し付ける必要はありません。反力を押さえる程度で十分です。
次に示すような原因により締付トルクは低下することがあります。従って本作業の前に必ず何本か実際に締めて締付トルクを確認してください。

締付トルクに影響する要因

(1)電　圧：
　電圧が降下すると締付トルクは低下します。
(2)締付時間：
　締付時間を長くすると締付トルクも増加します。ただし、あまり長時間(2秒目安)締めても上限値以上は増加しません。
(3)ボルト径が異なる場合：
　ボルトの径が変わると締付トルクも変わります。一般に大きなボルト径ほど締付トルクは高くなります。
(4)締め付け状態により：
　●同じボルトでも、トルク係数(ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示)、等級、長さによって締付トルクは変化します。
　●締付物(ホイール)の座面形状によっても締付トルクは変化します。
　●ボルトとナットが共回りすると大幅に締付トルクは低下します。
(5)別売部品の使用：
　ユニバーサルジョイント、エキステンションバーなどを使用すると若干締付トルクが減少します。
(6)ソケットのガタ：
　●ソケットの六角部、四角部が摩耗してガタが大きくなると締付トルクが低下します。
　●ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないと締付トルクは低下します。適切なソケットをご使用ください。

タイヤの交換方法

タイヤ交換に本機をご使用になる場合は、車の取扱説明書やタイヤホイールの取扱説明書をよく読みになり、その指示に従ってご利用ください。

警告

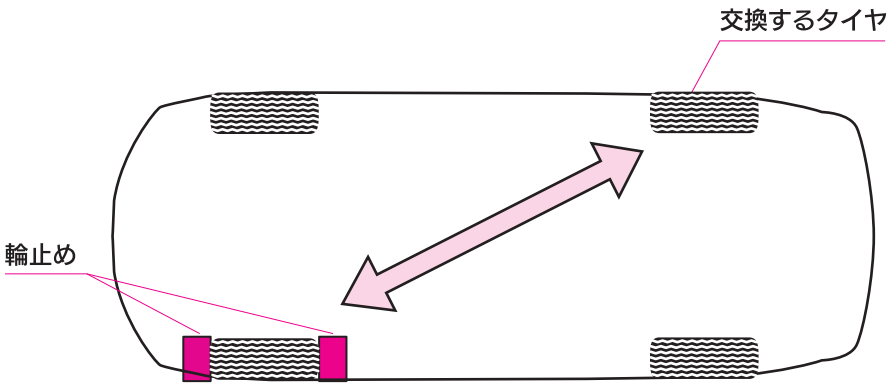
●地面が硬く、平坦な、車が安定して停車できる場所を選んでください。

1.タイヤの取り外し……

(1)車を、安全に作業できる場所へ止めてください。

(2)ハンドブレーキを確実に引いてください。

(3)車が動き出さないように、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めをしてください。



タイヤの交換方法

注意

●車種や締め付けの状態によりインパクトレンチではゆるまない場合があります。
その際は、ホイールナットレンチなど用いて手でゆるめてください。

(4)工具、ジャッキ、ジャッキハンドル、スペアタイヤを用意してください。

(5)スペアタイヤを、交換するタイヤ近くの車体の下へ置いてください。

(6)タイヤにホイルキャップやセンターキャップが装着されている場合は、車の取扱説明書の指示に従い、
取り外してください。

(7)交換するタイヤに近いジャッキアップポイントにジャッキをセットしてください。

(8)ホイールナットを１回転程度ゆるめてください。

(9)ジャッキハンドルをジャッキにセットし、タイヤが地面から少し離れるまで車体を持ち上げます。

警告

●必要以上に高く上げないでください。
不安定になりジャッキがはずれる事があります。

(10)インパクトレンチを用いて、ホイールナットを外し、タイヤを外してください。

2.タイヤの取り付け……

(1)タイヤをセットしてください。

(2)ホイールナットのネジ山を手作業で合わせた後、インパクトレンチを用いて仮締めしてください。

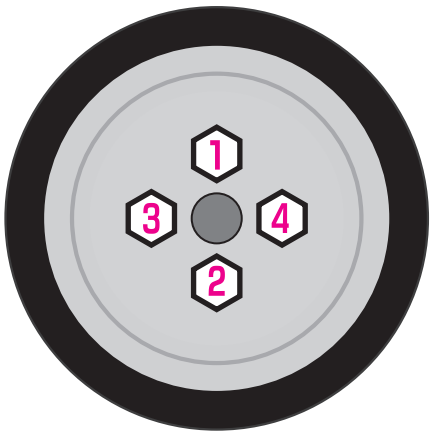
注意

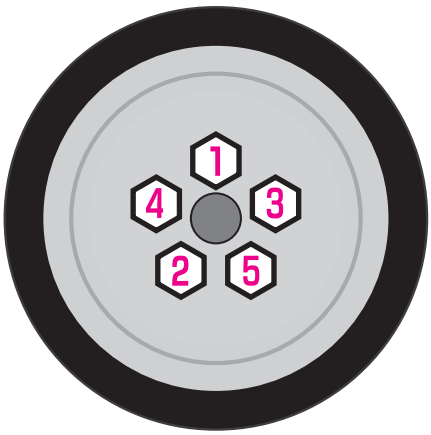
●インパクトレンチが打撃を始めない程度まで締めてください。
●ホイールメーカーの指示によりインパクトレンチが使用不可の物もありますので、
ホイールメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

(3)ジャッキを下げてください。

(4)下図の順番に合わせて、順次ホイールナットを２～３回に分けて締め付けてください。

(5)ホイールナットレンチ等、手作業で締め付けを行い、最終的にトルクレンチにて締め付けトルクを確認してください。





注意

●本機には、トルクを調整する機能がありません。従いまして、インパクトレンチでは、締め付けすぎたり、締め付け不足が起こる可能性があります。インパクトレンチでの締め付けは、仮締めまでとし、最後はホイールナットレンチや、トルクレンチなど用いて、車種にあった規定の締付トルクで、確実に締め付けを行ってください。

警告

●ホイールナットの過度の締め付けは、ボルトの損傷やネジ山の損傷を起こします。また、締め付け不足は、走行中にナットがはずれ重大な事故につながる事があります。
本製品は締付トルクが高いので十分注意してください。

保守・点検

警告

●点検・手入れの際は必ずスイッチを切り、
差し込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. ソケットの点検……

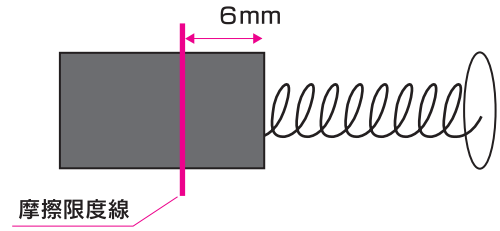
ソケットの六角穴や四角穴が摩耗しますとガタが大きくなり、締付トルクが低下します。
定期的にソケットを点検し、摩耗している場合は新品と交換してください。

2. 各部取付けネジの点検……

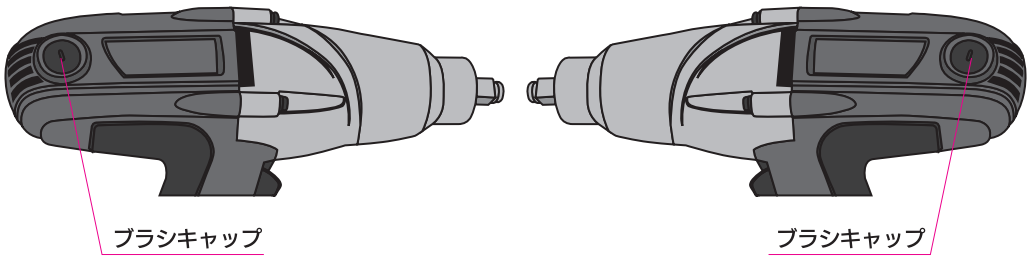
各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、ケガなど事故の原因になります。

3. カーボンブラシの点検……

カーボンブラシは定期的に、取り外し点検してください。
カーボンブラシが残り6mmにまで摩耗したら新品と交換してください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



硬貨などコインを使ってブラシキャップを取り外し、中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と交換した後、ブラシキャップを取り付けてください。
カーボンブラシは左右2個で一組になっています。交換する場合は、必ず同時に行ってください。



保守・点検

4. 使用後の手入れ……

油汚れなどを拭き取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で機体を拭いてください。
ガソリン、シンナー、石油類での清掃は機体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

5. 製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

このような場所には保管しないでください。

- ●お子様の手が届く所や、簡単に持ち出せる場所
- ●軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- ●温度が急変する場所
- ●直射日光が当たる場所
- ●引火や爆発の恐れのある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

この機体は、精密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店、または当社にご依頼ください。
その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
※外観など一部を変更している場合があります。

■FT-40P電動インパクトレンチ仕様

使用電源	単相交流 50/60Hz　電圧100V
能　　力	ボルトサイズ：M10～M14（普通ボルト）
締付トルク	300N・m （電圧100V / 締付時間2秒）継ぎコードなしの場合
角ドライブ寸法	12.7mm（ソケット取付部の四角の対辺寸法）
電　　流	4.8A
消費電力	定格 450W
回転数	2000rpm
付属品	ディープソケット（19mm・21mm）
本体重量	3.1kg（コード、ソケットを除く）
ACコード長さ	2m
本体サイズ	約80（W）×205（H）×290（D）mm

輸入元
Meltec 大自工業株式会社
営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072(976)0101　FAX.072(976)0105
●http://www.daiji.co.jp/　●Eメール：info@daiji.co.jp

商品の仕様及びカラーは、改良の為予告なく変更する場合があります。

MADE IN CHINA